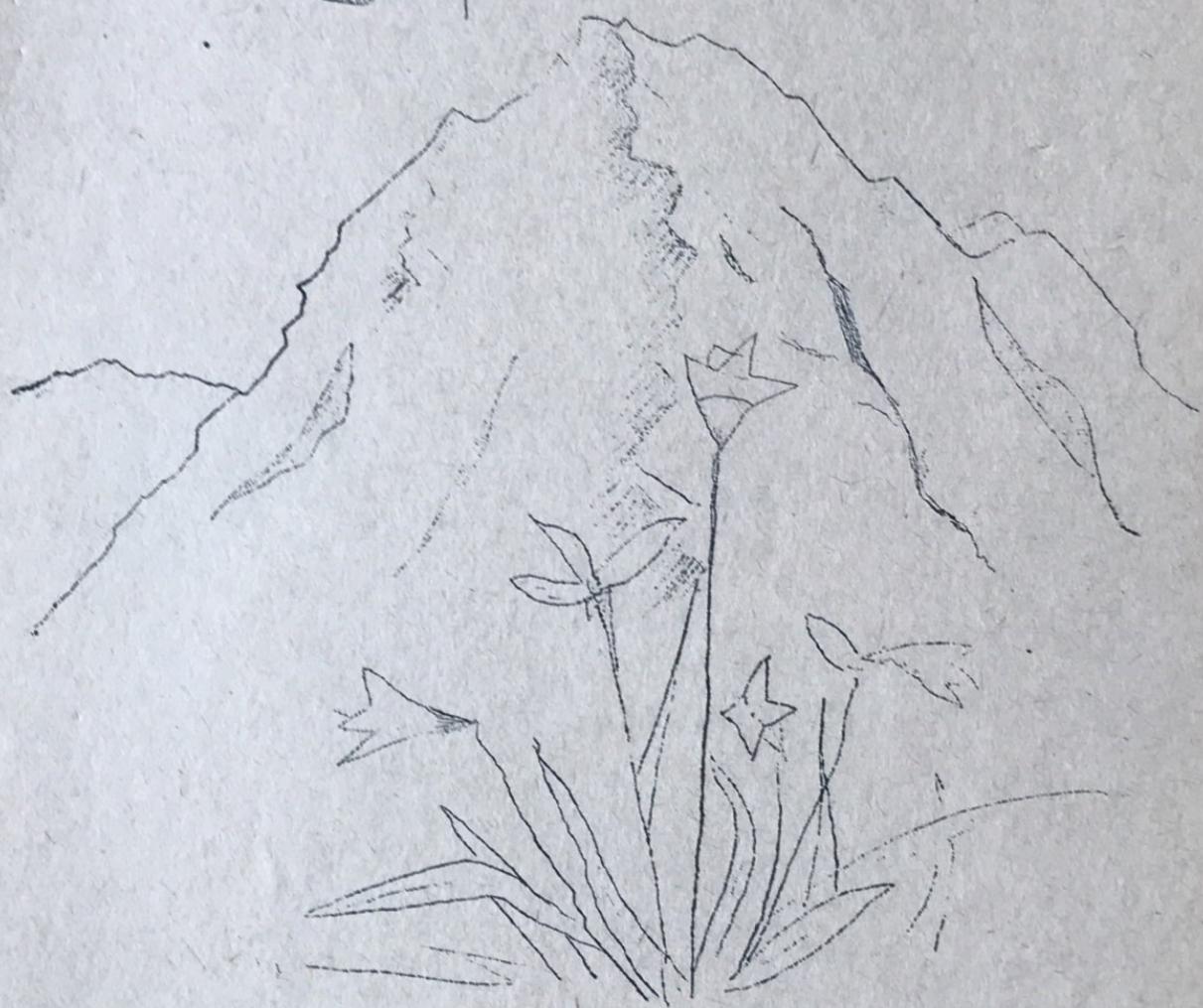


D, W, V。

67年度夏山合宿。

飯豊連峰



(記)

1967年7月21日~26日

獨協高校ワンダーフォーゲル部

参加者

住所

TEL

引率者 高梨富士三郎 芝田谷区大杉町119-1(417)334

" 飯島義信 文京区湯島 2-7 (812)4484

(C.L) 志村裕一 H2-3 杉並区三田町1-16-5 (320)8618

(S.L) 鷦鵣眞 H2-2 新宿区中落合4-8-28(952)0719

(会計) 野本敬忠 H2-7 豊島区駒込5-910 (984)5026

(装備) 關谷雅博 H2-3 文京区千石2-42-16(941)7086

(") 高橋 豊 H2-4 大宮市吉敷町100

(食料) 佐久間俊-H2-5 板橋区板橋4-26-10(961)3518

(") 木村泰樹 H2-2 文京区西片2-12-20(811)1692

永見政男 H1-4 江東区大島町5-34-10(681)6116

岸太一郎 H1-2 杉並区西荻北5-10-9 (340)2954

永田 洋 H1-4 千代田区内神田3-16-10(252)4288

飯豊連峰 徒走コース

20日 上野 開令 ~~皇室~~ 德次

21日 德次 ~~五日~~ 小平四郎 一 被川、追

22日 被川 ^{4時間} 三国岳 ^{1時間} 種萬山 ^{2時間} 飯豊山一御西山

天狗の庭 —— 御手洗池

23日 御手洗池 ^{1時間20分} 猪帽子岳 ^{1時間} 十文字鞍部(左田太郎池)

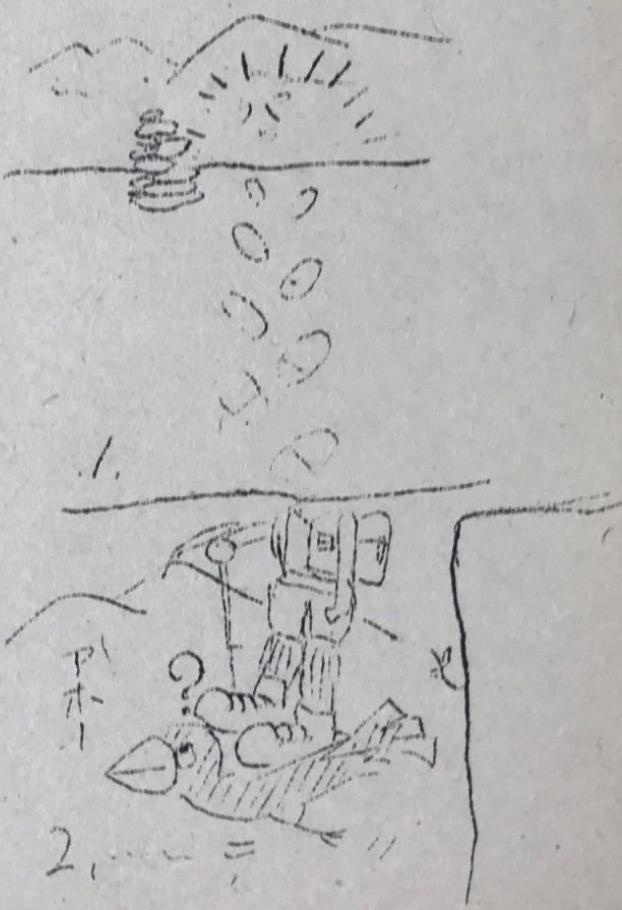
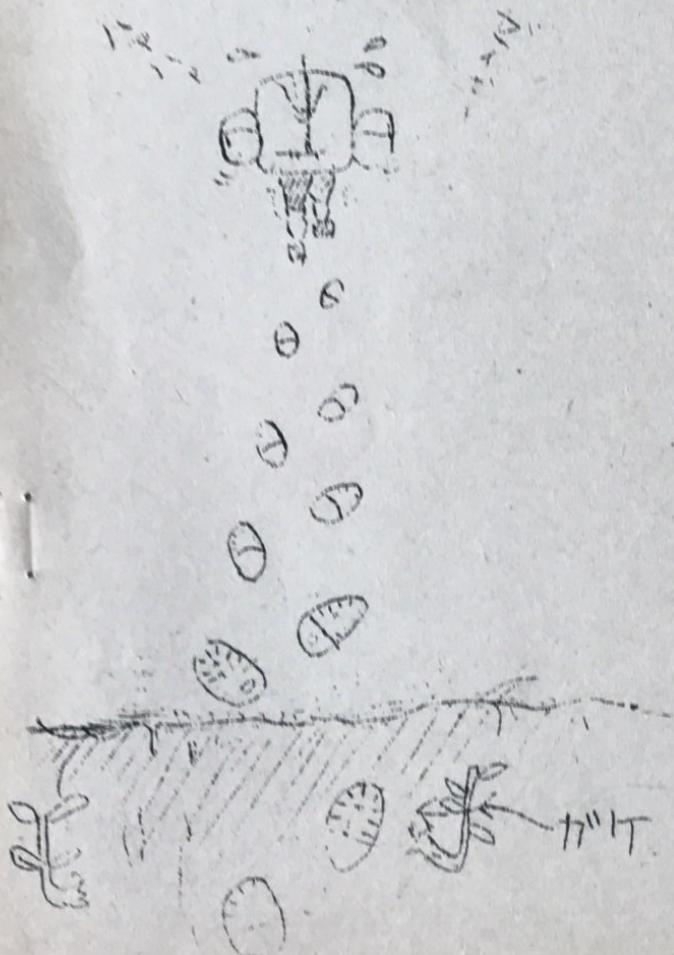
24日 与田太郎池 ^{30分} 北股岳 ^{1時間} 門内山 ^{30分}

一扇ノ地紙 ^{40分} 地神山 ^{45分} 輪切木山 —

大石山 ^{45分} 金輪立峰 — 松入峠 ^{2時間} 大熊小屋

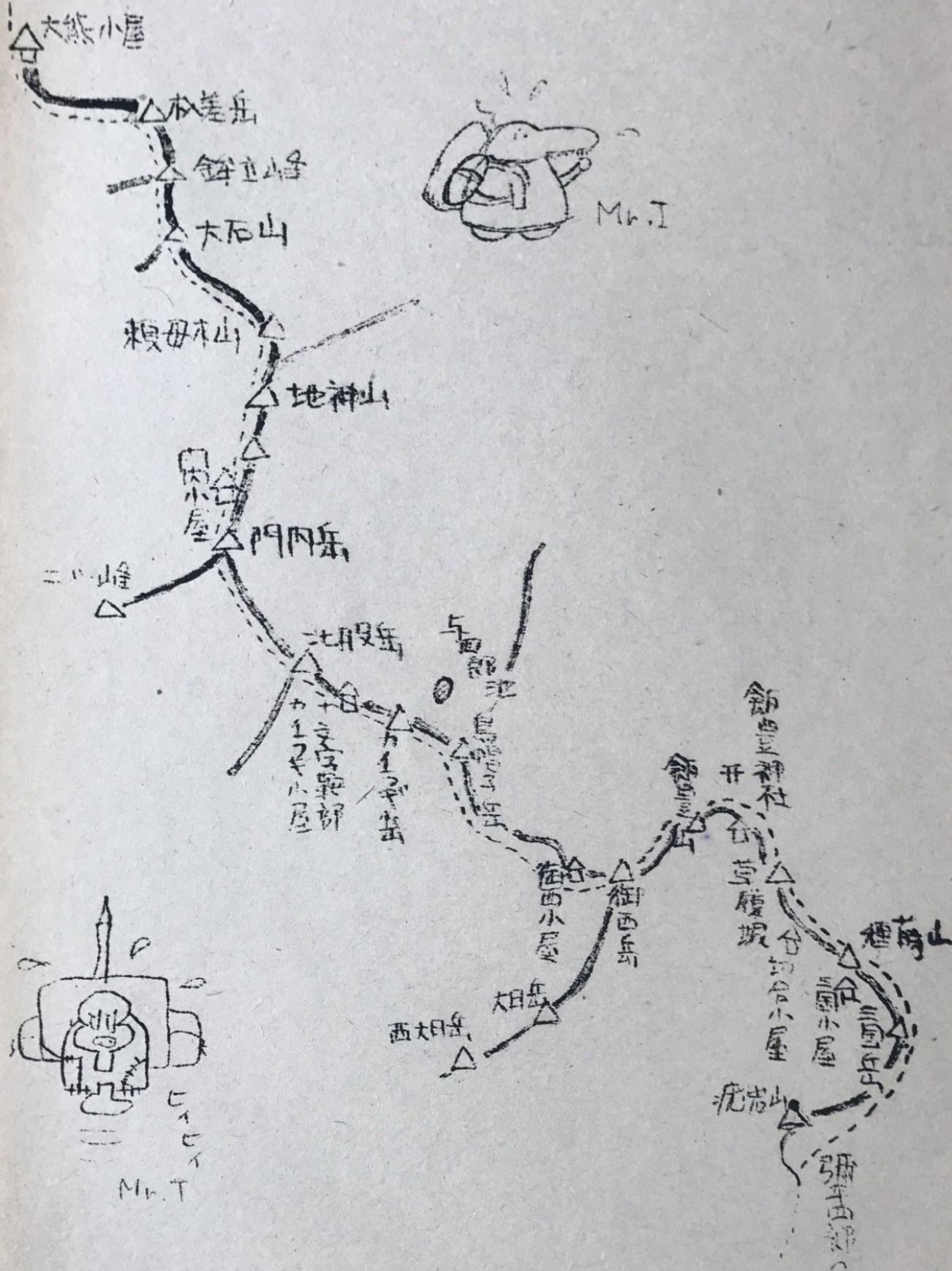
25日 大熊小屋 ^{4時間10分} 大石 ^{1時間} 越後下丸

七八八



毛詩經傳下闋

飯豐連峰主脈從走。



夏山合宿食料計画

20日 出発

S) 上野駅食堂利用の予定

21日 袋川

B) 弁当

L) 弁当

S) トンカツ、ホタ-ジュース、野菜。

22日 袋川へ切合せ

B) 味噌汁、卵、缶詰(肉)、ソーキ、漬物、梅干。

L) パン、ジュース、バター、チーズ、シャム、レモン。

S) カレーライス、福神漬。

23日 切合せ～与四郎の池(十文字鞍部)

B) シチュー、マリんぽし、のり、ふりかけ、漬物。

L) パン、ミルク、ピーナツ、ノウリーソ、ハム。

S) コンソメスープ、野菜、いため。

24日 与四郎の池(十文字鞍部)へ頼、母木山

B) 味噌汁、チだら、のり、ヤーコンいため、梅干。

L) パン、ジュース、シャム、チーズ、レモン、ソーセージ

S) いための御飯、クーラスープ、漬物。

25日 賴母木山～大熊小屋

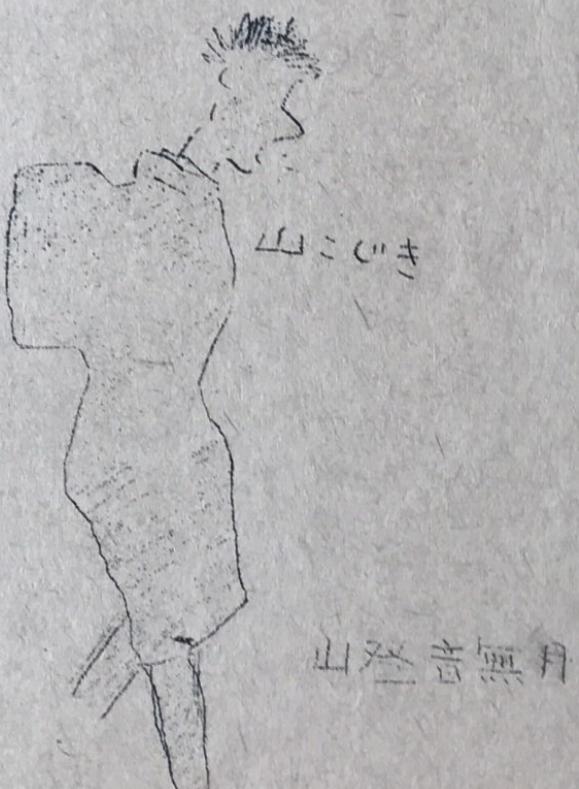
- ④) シチュー、ハンバーグ、ふりかけ、漬物。
- ⑤) パン、ミルク、ハタミツ、ハム、バター、レモン、
- ⑥) 五目寿司、コンソメスープ、

26日 大熊小屋へ帰着

- ⑦) 味噌汁、干ダラ、のり、ふりかけ。
- ⑧) パン、ジャム、ジュース、チーズ、レモン
- ⑨) 食堂利用の予定。

その他

非常食 (各自三食分位持ってくる)
"インスタントラーメンを3個



夏山合宿団体装備

テント	2	おひ	ナ
ボール	2	といばし	ニ
グランドシート	1	たれし	シ
マック	60	クレインサー	ヌ
木打	5	ほうき	ヌ
スコップ	2	予備はりづ木	4
ランタン	2	急救箱	1
ラジウス	5	カトリセンコウ	3
ボリタン	5	キンカン	3
ザウル針	6	はり金	多
固型燃料	2	シナナバ	1
大ナバ	2	サイル	2
文化ナバ	/		
ほうちょう	3		
まな板	2		
ヤカン	/		
食器	45		
（ヤモリ）	2		

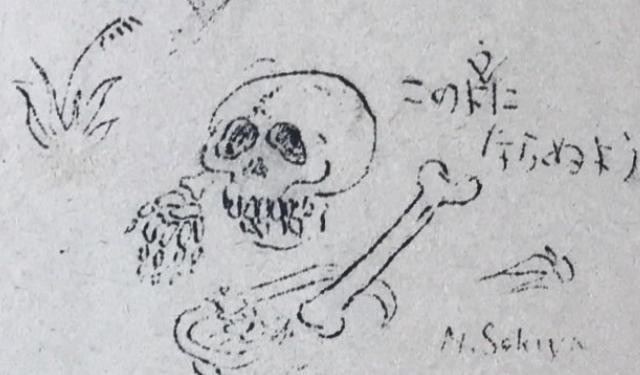
~~個人装備~~

スポン	1 or 2	ローソク	2
短パン	1	予備	2本
オープンシャツ	2	細引	10m
セーター	1	けん	1
キルティング	1	葉食	3食分
ヤッケ	1	非食	1食
シャツ	3	ハリ	and 系
パンツ	3	モコラ	帽子
靴	下	扇	1
シュラフ	1	地図	15万分の1
軍手	2	飯	豊山, 大日岳
マチ	多	ポンチ	1
タヌク	2	うちわ	3
保証書	かく	身分証明書	
武永	かき	火薬筒	1
火薬袋	ビニール	袋	多々
新聞紙	新	紙	多々
手紙	チリ		

蘇州平江形勢圖

東積雪を促進し、運送を難しくする。連峰の山脈は、西側の風雨より最も多く、高高度部では、年間降水量が1000mm以上である。また、東側の風雨は、西側よりも少ないが、それでも年間降水量は約500mmである。このように、東西の風雨量の差異が、山脈の東側では、積雪が多くなる。また、山脈の東側では、積雪による雪崩や雪崩による雪崩事故が頻繁に発生する。一方で、山脈の西側では、積雪による雪崩や雪崩による雪崩事故はほとんどない。

MEMO



M.Sekiya

S.Yamato

ベルグ ハイル

MY-NAME

非売品	発行 独協リニアーフォル部
	発行日 42年7月7日
	編 集
	志村・鶴鶴・関谷
	徳久間・木村・高橋
	野本
	計画書名 67夏山合宿